

埼玉親善大使レポート

留学先：ニューカッスル大学（イギリス）

期間：2023年9月～2024年6月

K. A



【ニューカッスルについて】

ニューカッスルはスコットランドの近く、イングランド北東部に位置しています。現地の人々は「ジョーディー」と呼ばれ、方言やアクセントが強いことで知られているため、留学前はジョーディー英語を理解できるか不安でした。しかし、町の人々は優しく安心して過ごせ、ローカルの文化を味わえる貴重な経験になりました。また、国際色豊かで、日本ではなかなか出会う機会の少ない国籍の人々と交流しました。個人的にはインドネシア人、マレーシア人、中国人、香港人と関わることが多かったです。仲良くなった人と政治的な話など深い話までし、調べるだけではわからないことまで知ることができ、自分の価値観が大きく変わりました。



↑ 現地の友達とアフタヌーンティー



↑ 所属していた Swing Dance Society のみんな

【授業】

地理学、異文化、コミュニケーション、視覚文化など幅広い分野の教科を履修しました。セミナーでは活発なディスカッションが行われ、色んな人の意見が聞けて私の視野が広がりました。全体的に LGBTQ+ やジェンダー、人種差別に着目していることが多く、日本の授業とは違った視点から学べ、面白かったです。

【埼玉について】

現地で驚いたことは、出身地を聞かれ埼玉と答えると、アニメ「ワンパンチマン」の主人公「サイタマ」について挙げる人が5人以上はいたことです。また、日本のアニメの授業で「らき☆すた」の舞台でもある埼玉県幸手市が鷲宮神社について話題になった際、知っている人が多く、驚きました。外国の方から見る埼玉の視点が予想外で、面白かったです。埼玉県親善大使として、異文化理解の授業で埼玉についてプレゼンテーションさせてくれる機会を設けられました。特に私の好きな町の長瀨や川越、大宮について紹介し、四季を楽しめる彩の国として紹介しました。また、寮のみんなに草加煎餅や狭山茶、川越のお菓子をあげました。美味しいと喜んでくれて、必ず近い将来埼玉を訪れると言ってくれました。自分の好きな故郷を少しでも多くの人に知ってもらえて嬉しかったです。



【最後に】

留学は、人生の考え方も変わる貴重な経験となりました。この度、埼玉親善大使として活動させていただく機会をいただき、心から感謝しております。この場をお借りして、ご支援いただいた皆様に深くお礼を申し上げます。